



平成22年10月5日

## 新規オープンを前に東京国際空港国際線ターミナルで消防演習の実施

東京消防庁では、10月21日（木）にオープンする、東京国際空港国際線ターミナルで、大規模な消防演習を実施します。

この演習は、東京国際空港国際線ターミナルにおいて、いつ起きるかわからない東京を震源とする地震に備えて、消防隊の消火、救助活動の習熟、さらに各関係機関等との円滑な連携要領を目的に下記のとおり行います。

### 記

#### 1 実施日時

平成22年10月8日（金） 13時30分から14時10分

#### 2 実施場所

東京国際空港国際線ターミナル  
大田区羽田空港二丁目6番（別図1参照）

#### 3 主催

東京消防庁

#### 4 統裁者

統裁者：第二消防方面本部長 村上 研一（むらかみ けんいち）  
統括指揮者：蒲田消防署長 佐野 元康（さの もとやす）

#### 5 参加機関等

- (1) 東京消防庁
- (2) 国土交通省 東京航空局 東京空港事務所
- (3) 財務省 東京税関 羽田税関支署
- (4) 東京国際空港ターミナル株式会社
- (5) 株式会社日本航空インターナショナル
- (6) 全日本空輸株式会社
- (7) 京浜急行電鉄株式会社
- (8) 東京モノレール株式会社
- (9) テナント各社

計 人員約250名、車両20台

## 6 演習想定

平成22年10月8日（金）13時30分、東京都23区を震源とする地震により、東京国際空港国際線ターミナルビルが一部倒壊、火災が発生し、多大な被害を受けたという想定で実施します。

## 7 演習の重点

- (1) 現場指揮本部における関係機関等との連携及び情報収集要領
- (2) 関係機関と連携した要救助者の避難誘導及び検索救助
- (3) 救助隊及びはしご隊による高所で発生した要救助者の救出活動
- (4) 救急統括要領及び救急活動要領
- (5) C A B部隊及び自衛消防隊と連携した消火活動

## 8 演習進行内容

別表のとおり

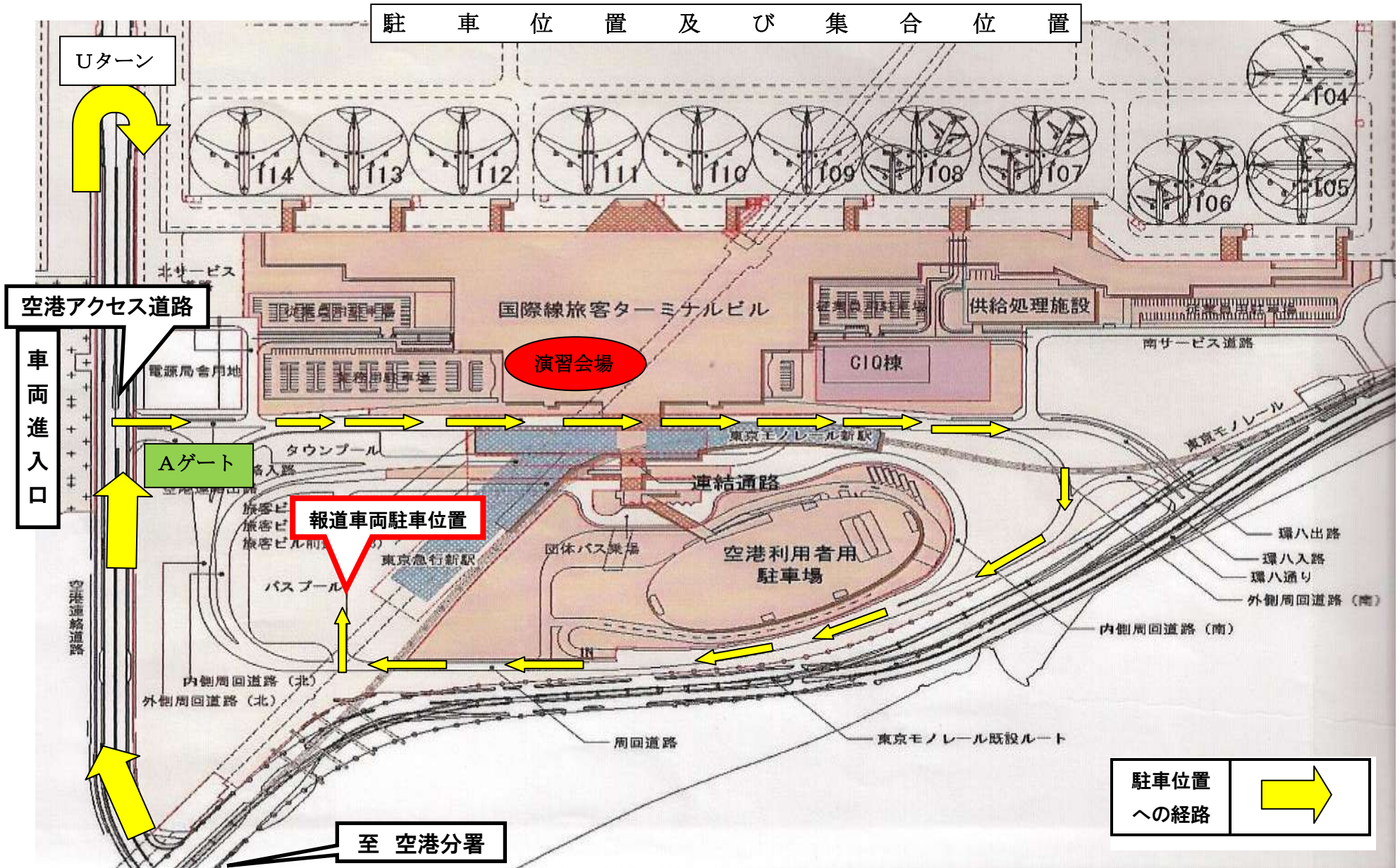
## 9 取材にあたっての注意事項

- (1) 車でこられる報道機関は、Aゲート入口で車両通行許可証を係員から受け取り、車のダッシュボードに掲げ、バスプールに駐車してください。（別図1参照）
- (2) 電車でお越しになる報道機関は、**蒲田消防署空港分署に12時15分（最寄り駅は東京モノレール又は京浜急行空港線の「天空橋」）までに**、集合してください。演習会場まで車両で送迎しますので、**時間厳守にてお願いします。**
- (3) 訓練に伴う報道機関向け事前レクチャーを12時45分から行います。報道機関は、演習会場の本部席テント横に12時45分までに集合してください。
- (4) 取材にあたっては、自社腕章を着用してください。

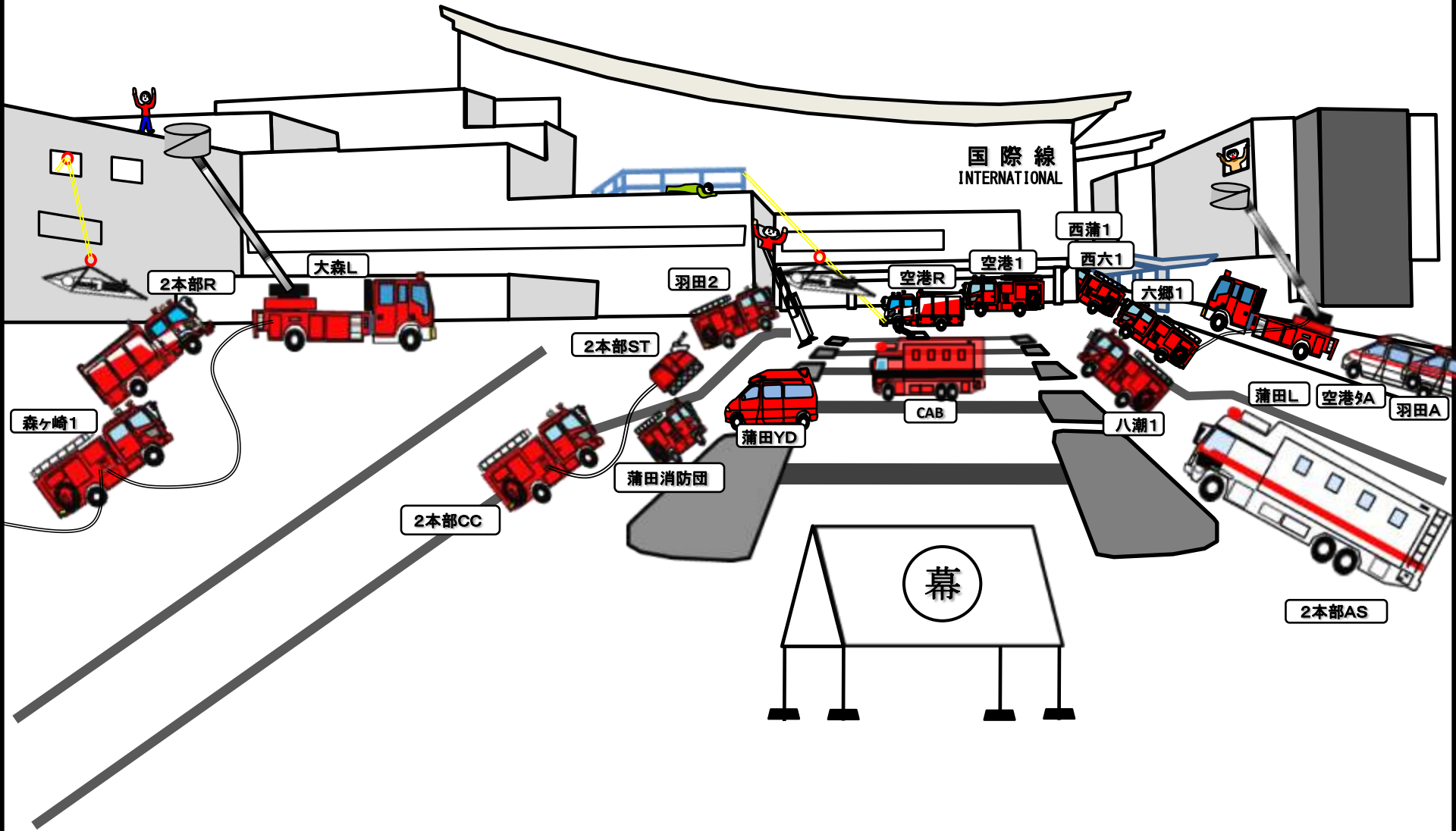
問い合わせ先

東京消防庁	電話	3212-2111
広報課報道係	内線	2345～2350
蒲田消防署	電話	3747-0119
空港分署警防係	内線	842

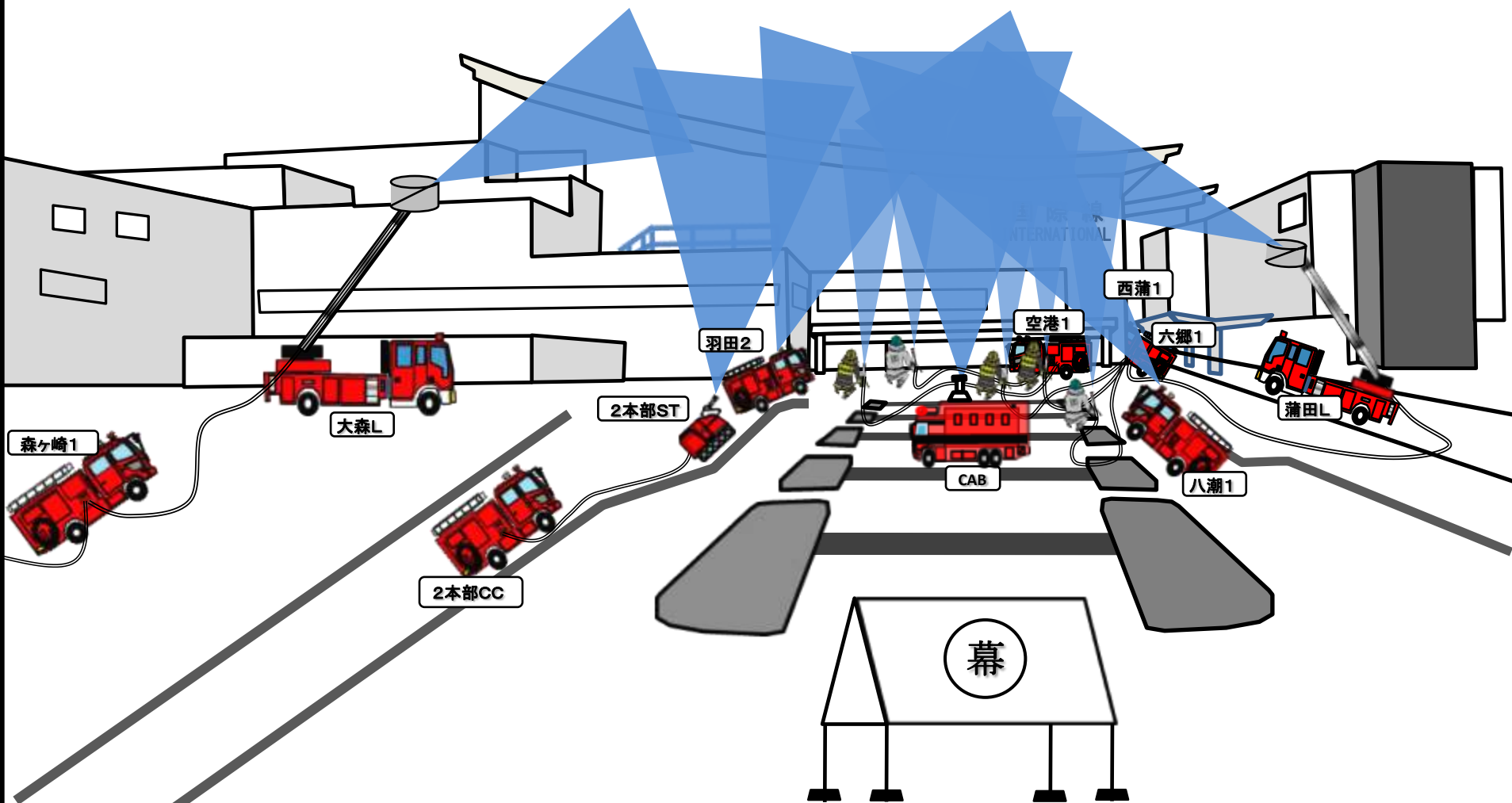
別図1



# 消防演習 活動イメージ図



# 消防演習 活動イメージ図



放水車両：6隊（羽田2、八潮1、2本部ST、蒲田L、大森L、CAB）  
放水隊員：5名（消防隊3口、消防団1口、自衛消防隊1口）

別表

## 訓練進行表

時間経過	活動概要	備考
13時30分	地震発生 自衛消防隊活動開始	
13時31分	火災発生・119番通報	建物内で行います。 撮影はできません。
13時32分	初期消火開始	建物内で行います。 撮影はできません。
13時33分	避難誘導・傷者搬送	建物内で行います。 撮影はできません。
13時35分	消防隊出場	
13時38分	抱え救出開始	
13時39分	空港1小隊逃げ遅れ救出	
13時41分	西蒲田1小隊逃げ遅れ救出	
13時43分	はしご隊逃げ遅れ救出	
13時44分	救助隊逃げ遅れ救出	
13時45分	余震発生・緊急脱出開始	
13時47分	一斉放水	風向きによっては、濡れる場合がありますので、ご注意願います。
13時50分	講評	本部席の前で行います。
14時10分	演習終了	演習終了後、自衛消防訓練を行います。